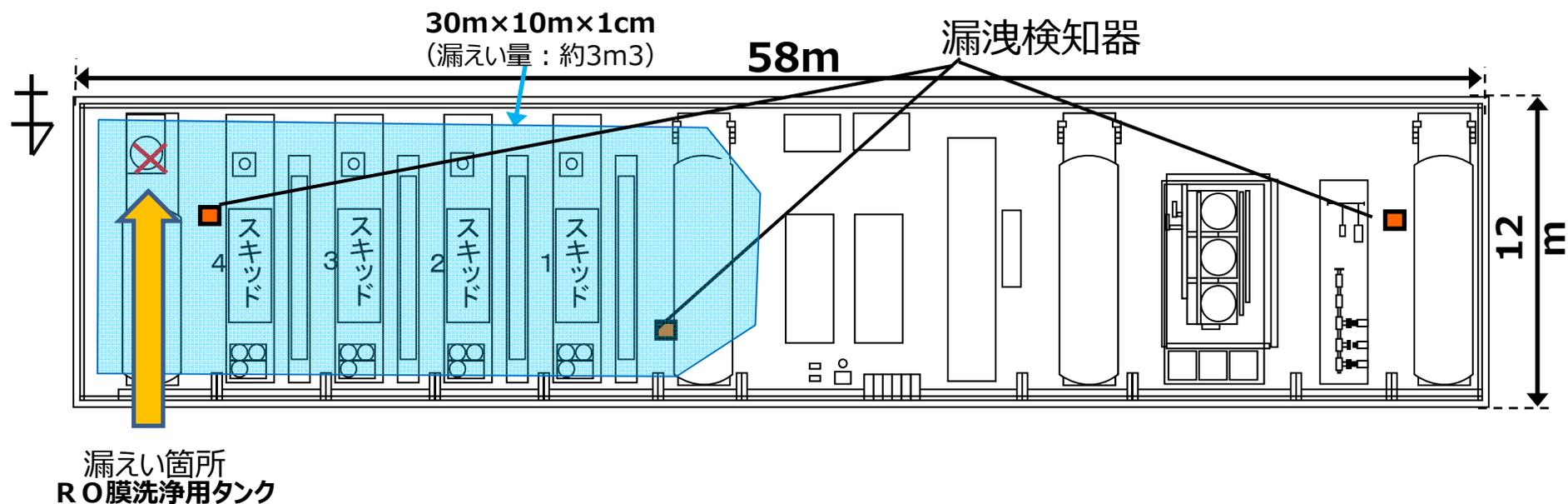


福島第一原子力発電所構内における淡水化装置からの 漏えいについて

2016年11月1日
東京電力ホールディングス株式会社

- 本日（11/1）、既設RO洗浄水タンクからRO膜の洗浄水（RO処理した後の水）が約3t漏えいしました。
- 漏えいした洗浄水は堰内にとどまっており、外部への漏えいはありません。漏えいした水は回収中です。
- 漏えいした原因は、水位計の動作不良等により、電動弁が動作せず、漏えいに至ったと推定しました。
- RO装置が停止しても炉注水、建屋滞留水への処理に影響はありませんが、RO装置はRO膜洗浄装置を隔離した状態で運転可能。準備が整い次第、RO装置の運転を再開します。



福島第一原子力発電所構内における淡水化装置からの漏えいについて

<時系列>

- 6 : 3 5 漏えい警報「RO設備漏えい監視装置異常」発生
- 6 : 3 5 RO廃液供給ポンプ（RO3入口への供給ポンプ）を手動（遠隔）停止
- 6 : 5 8 当社社員が漏えい確認、RO淡水化装置設備停止
RO3ジャバラハウス内において、RO膜洗浄装置用タンクからのオーバーフローを確認
- 7 : 1 1 RO膜洗浄装置用タンクへの処理水供給ユニットを手動停止
- 7 : 2 5 漏えいがRO3テントハウスの堰内に留まっていることを確認
- 1 1 : 4 7 漏えい水回収開始

<漏えい量>

約30m×10m×1cm＝約3t

<水質分析結果>

漏えいした洗浄水（床面）をサンプリングした結果は以下の通りです。

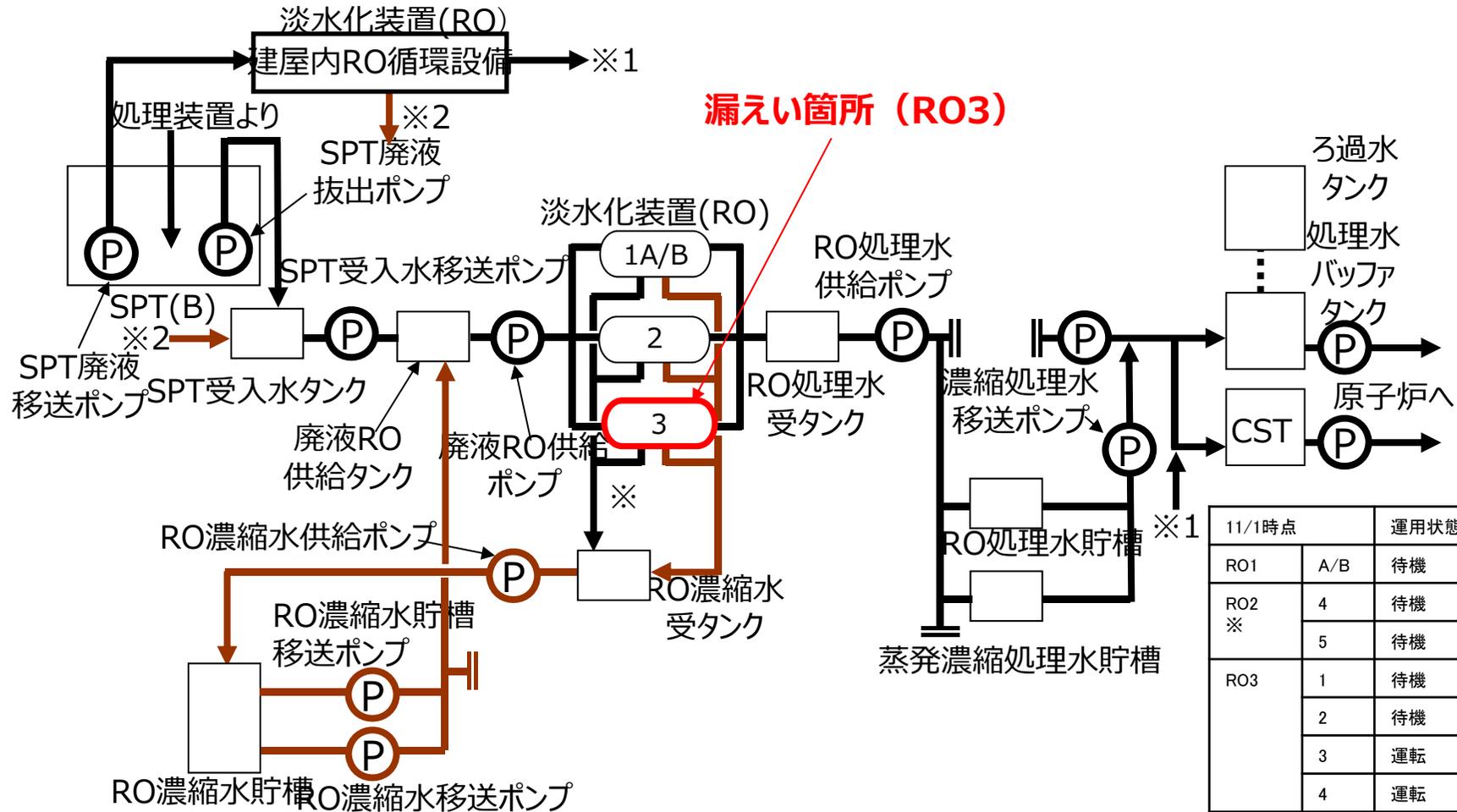
・セシウム134： $1.1 \times 10^1 \text{Bq/L}$ 、セシウム137： $6.6 \times 10^1 \text{Bq/L}$ 、全ベータ： $4.5 \times 10^4 \text{Bq/L}$

<今後の対策>

- ✓ 水位計の動作不良の原因と対策について検討を行います。

福島第一原子力発電所構内における淡水化装置からの漏えいについて

<系統図>



11/1時点		運用状態
RO1	A/B	待機
RO2 ※	4	待機
	5	待機
RO3	1	待機
	2	待機
	3	運転
	4	運転
建屋内 RO	A	待機
	B	待機

※RO2-1,2は運用予定は無く配管・電源切り離し済
RO2-3は未設置

福島第一原子力発電所構内における淡水化装置からの漏えいについて

<系統図>

